

牧草と園藝



イタリアンライグラス新品種のご紹介

極 早 生
極短期利用

サクラワセ

農林水産省品種登録第303号
雪印種苗育成品種

品 種 特 性

- サクラワセは2倍体の極早生・極短期利用品種。
イタリアンライグラスの中では出穂が最も早く、ソメイヨシノ桜の開花と同時期に出穂ないし出穂期を迎え、利用適期が最も早い。
- サクラワセは初期生育が早く耐寒性にも優れる。
低温時の伸長性が良好なため早春の乾物生産性が高い。
- サクラワセは細茎で出穂茎数が多く乾物率が高い。
予乾効率に優れ、特にサイレージ・乾草利用に好適。
- サクラワセは収穫後の残株・残根量が少ない。
圃場耕起・機械播種作業等の支障が軽減され、後作物への移行が容易。
- サクラワセは作付体系の中でより高く評価される。
以上の品種特性から、トウモロコシの早播き栽培が可能となり、早期水稻の前作物としても利用効果が高い。

栽 培 ・ 利 用 の ポ イ ン ト

- 極早生・極短期利用の特色を発揮させる。
 - ① 適期播種を励行し、越年前の生育量を確保すること。播種期が遅れると短程で出穂し低収となりやすい。また生育期間が短いので速効性肥料を多目に施す必要がある。

各地の播種期および出穂期（収穫期）

	宇都宮市	千葉市	岡山市	熊本市	鹿児島市
播 種 期	9/下旬	10/上	10/上～中	10/上	10/中～下
収 穫 期	4/下～5/上旬	4/中～下	4/中	4/中	4/上～中

- ② 適期収穫（出穂期刈）に努め、トウモロコシ、水稻などの早播き（移植）を行い、夏作物の安定確収をはかる。
- ③ 耐寒・耐雪性は「ワセアオバ」と同程度で強と判断されるが、根雪日数が100日を越える地帯では極早生としての特性発揮がむずかしく、4倍体の「エース」等を栽培したほうが有利。

宮崎における品種比較試験（昭. 58, 雪印種苗・宮崎試験地）

試験データ

品 種	初期生育 12/23	春の草勢 3/17	出穂始 (月日)	草型			刈取り時 生育段階		草丈(cm)		乾物率(%)			乾物収量(kg/10a)		
				I	3/23	4/5	I	II	I	II	計	I	II	計		
サクラワセ	8.0	8.0	3.13	1.7	9.0	8.3	出穂期	開花終	107	106	17.4	20.5	18.4	582(127)	306(103)	888(118)
市販種(M・W)	6.0	6.0	3.24	3.0	6.3	7.3	出穂初期	開花期	91	93	14.0	16.9	15.0	459(100)	296(100)	755(100)
普通種	3.0	4.0	—	4.7	6.6	8.0	伸長期	出穂始	73	90	13.4	13.8	13.6	417(91)	307(104)	724(96)

注) 播種期：昭57. 11. 13 収量調査月日：Ⅰ－4月5日、Ⅱ－5月10 草型：9ホフク型～1直立型
耐倒伏性：9極強～1極弱 初期生育、春の草勢：9極良～1極不良